

春の火災予防運動

もういいかい 火を消すまでは まだまだだよ

【問合せ先】 消防局予防課 (0798・32・7313) またはお近くの消防署へ

3月1日〜7日に、「春の火災予防運動」が実施されます。消防局では、皆さんに防火意識を一層高めてもらい、火災の発生を未然に防止するため、期間中、商業・福祉施設などの立入検査や消防訓練を行います。

住宅用火災警報器

火災から命を守る

住宅火災は、夜間に多く発生しており、就寝中で火災に気付くのが遅れてしまうことが住宅火災の死亡原因のひとつとなっています。また、火災で発生した有毒な煙による一酸化炭素中毒や窒息で多くの人が亡くなっています。

「住宅防火診断」実施

消防職員が家庭を訪問し、家庭内に潜む火災の危険性についてチェックを行い、必要な対策を説明します。訪問時はご協力をお願いします。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

- 《3つの習慣》 ①寝たばこは絶対しない ②ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する ③ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す 《4つの対策》 ①逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する ②寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために防災品を使用する ③火災を小さいうちに消すために住宅用消火器を設置する ④高齢者や身体の不自由な人を守るために隣近所の協力体制をつくる

3月7日 消防・地震体験をしよう 防火イベントを開催

3月7日(土)の午後1時〜4時半にららぽーと甲子園南側駐車場で防火イベントを開催します。

放火防止の自衛意識を



市では20年以上、放火(放火疑いを含む)による火災が、出火原因の1位になっています。放火を減らすためには、自らが放火を防止する自衛意識を持ち、「放火されない・放火させない・放火されたも被害を大きくさせない」まちづくりに取り組むことが大切です。

放火火災予防チェック

- 次の項目に当てはまるものに印を入れ、自分の家の放火火災に注意すべき場所を確認しましょう。当てはまるものがあれば注意が必要です。 □家の周りや外階段の下などに可燃物を放置している □ごみ収集日の前夜にごみを出している □共同住宅などの共用部分を物置代わりに使用している □自転車やオートバイのこごに物を置いたままにしている □自転車やオートバイのボディカバーに防災品を使用していない □玄関・物置・車庫を施錠していない □郵便受けに新聞やチラシなどをためたままにしている □消火器等がどこにあるか分からない □門灯、玄関灯の照明がつかない

山火事にご注意を



3月1日〜5月31日に「山火事予防運動」を実施します。この期間は、野山へ行楽やハイキングに出かける機会が多くなります。貴重な自然・緑を守るため、次の①〜⑤に注意してください。

地域課題の解決や文化の振興を！ 協働事業提案を募集

市は、①未来づくりパートナー事業と、②地域文化芸術振興部門への協働事業提案を募集します。

①未来づくりパートナー事業は消印有効、②は必着を決定に向けた提案を募集します。募集区分は、市民の皆さんが自由な発想で提案する「自

出展しませんか 緑化展示園

市は、環境に配慮した緑化の取り組みとして屋上緑化の推進を図っており、本庁舎において屋上庭園を市民に公開しています。また、屋上庭園

広告主を募集

図書館ホームページ 北口・鳴尾図書館壁面

市は、①市立図書館ホームページ、②北口図書館エントランス壁面、③鳴尾図書館1階ロビー壁面に広告を掲載する事業者を募集します。下表参照。

Table with 3 columns: 広告(募集枠数), 規格, 備考. Details advertising spots for libraries.

60才以上の方、あなたも会員になりませんか 高齢者宅・子育て家庭のお仕事が増えています 家事援助のお仕事をしてお待ちしています 西宮市シルバー人材センター

由提案型」と、市が設定するテーマ(課題)に対して市民の皆さんが提案する「テーマ設定型(今回のテーマは、ボランティア活動を通して地域コミュニティ活性化事業)」の2つです。 ※提案内容に応じ、関係課と提案者が協議し、審査会で審査